

Ⅱ. 2021 年度活動報告

1. 自主防災組織全体

- ① 11/14 に感染症対策を講じての防災訓練(安否確認と備蓄倉庫の棚卸)を、2/5 に防災井戸に関する防災住民意見交換会を Zoom 会議方式で開催した。一方、今年度開催を予定していた日赤減災セミナー、救急救命講習会は新型コロナの感染状況を考慮し開催を見合わせた。
- ② 9月と3月に防災の日と防災週間を設定し、「防災アンケート」の記載のお願いと、備蓄水の購入あっせんに取り組んだ。
- ③ 筑波研究学園専門学校を災害時の一時避難所として使用するためのつくば市、土浦市、学校の三者協定締結交渉の促進要望を 1/18 に地元 3 区会から土浦市に提出すると共に、学校、行政、関係区会との打合せを行った。
- ④ 自主防災組織のホームページ、防災だより、防災メールを使って情報発信を行なった。
- ⑤ 災害時の水問題への取り組みとして次の活動を行った
 - ・ 防災井戸アンケートを実施。防災井戸の周知度、防災井戸整備の必要性、整備費用の考え方などを聞いた。回答会員数 284(回答率 52%)のうち、81%が「防災井戸を整備すべき」と回答。この81%のうちの90%が「市の補助金と自治会予算(を合わせた70万円)で整備すべき」と回答した。
 - ・ ニュータウン内の3軒の個人所有井戸の水質検査を実施。その結果、2軒は「飲用適」だったが、内1軒は色度が限度に近かった。他の1軒は一般細菌、臭気、色度が不適(鉄分も限度に近かった)のため、「飲用不適」だった。
 - ・ 簡易浄水器(Sawyer SP180)+45L ポリバケツを購入。浄水速度は 80L/時。フィルターの交換が不要。「飲用不適」だったお宅の井戸に簡易浄水器を付けて再度水質検査を実施。一般細菌と臭気は除去できたが、鉄分と色度が不適のため、やはり「飲用不適」となった。
 - ・ 深さ 30m 掘削した場合の費用見積もりを2社から出してもらった。その際、ある場所では出なかったら、別の場所から水が出てくるまで何回でも掘り直してもらうこととした。どちらの見積もりも 60 万円ほどだった(電源工事は別)。
 - ・ 「防災だより」No. 45 で、自主防としての防災井戸の考え方を説明。災害後3日ほどの個人備蓄(自助)から、その後給水車が来る(公助)ようになるまでの間を桜 NT 内の井戸(共助)でまかなうという考え。防災井戸アンケートで出されていたご意見に答える形で、(1)計画している防災井戸の内容、(2)井戸の維持費用と管理、(3)生活用水の確保が目的だが、簡易浄水器で飲用水も確保予定、等についても示した。「防災だより」No. 46 には、防災井戸アンケートで出されたすべてのご意見を掲載した。
- ⑥ 開催した会議は以下のとおり。なお、防災会議については今年度も開催を見合わせた。
 - ・ 役員会 8 回(4/24、6/26、8/21(Zoom)、10/30、12/18、1/29、2/19、3/26)

2. ひなん支援部会

- ① 災害時安否確認のための世帯調査とひなん支援を希望する方の調査を5月に行なった。ひなん支援希望者は88名/72世帯、サポーターを67名の方をお願いした。
- ② 防災訓練で安否確認を担当した。昨年と同様、感染症と地震の複合災害であることを前提に、担当者の感染防止を考慮した形で実施した。

皆さんの協力のもと、班長、サポーター、メールによって安否が確認されたのは、90.5%(493/545 世帯)で、これまでで最も高い数字となった。
- ③ 支援希望者宅の訪問を 3 回(6、11、3月)、ひなん支援部会を 5 回(4、6、10、11、1月)開催した。

- ④「ツクツク見守りたい」の記載事項について、支援希望者(6月訪問時)と住民の方(8月班回覧で)に確認をお願いし、パンフレットを希望者にお配りした。

3. 情報部会

① 自主防災活動の広報

- ・「防災だより」を 42 号から 46 号まで発行した。とくに、防災井戸については、42、45、46 号で情報が全住民に伝わるように努めた。
- ・ホームページによる訓練や講習会のお知らせ、防災だよりの掲載、自主防役員会の議事録などの掲載を行い、自主防災組織の活動状況がわかるよう努めた。
- ・防災メールにより、地震・台風・強風・大雨・高温など異常気象が予想される場合および周辺での災害発生状況などについて注意喚起の発信を 16 回行った(防災訓練、防災週間のお知らせ3回を含む)。また、今年は、防災関連だけでなく、県警からの防犯関連(ワクチン接種の予約案内のフィッシングメール、アイリスオーヤマ偽サイト注意、ニセ電話詐欺情報)の注意喚起の発信を 3 回行った。

② 防災メールおよびホームページの管理運営

- ・2021 年5月に「防災メールの手引き」(A4 巻三つ折)を防災メール登録申込書と一緒に全戸配布を行った。その結果、新たに 40 件の登録があった。世帯加入数は 258 世帯(約 50%)となり、登録実人数は 334 名(約 25%)となった。
- ・ホームページから常に新しい情報が提供できるように随時更新を行った。

③ 防災訓練

- ・本部での密を避けるため、昨年に続き防災メールの返信集計は担当者の自宅を Zoom で結んで行った。安否確認の返信数は 154 件(昨年は 147 件)であった。

④ 防災週間

- ・9月の防災週間のお知らせに合わせ、備蓄水 20 箱(2L6個入)の購入受付と宅配を行った。9月の防災週間のときには、防災アンケートも実施した。回収数は 317(前回3年前 340)で回収率は 58%だった。今後同様な質問内容で年1回実施する予定。

⑤ 防災住民意見交換会

- ・防災住民意見交換会を 2022 年 2 月 5 日に「防災井戸について考えよう」と題して実施した。

4. 訓練部会

① 防災訓練実施(11/14)

- ・安否確認実施
- ・カセットボンベ発電機の動作チェック
発電機の動作に問題がないことを確認した(投光器を接続し、点灯する事を確認)

② 備品購入整備

- ・簡易トイレ消耗品(150 回分)
- ・カセットボンベ(15 本)
- ・飲料用ペットボトル賞味期限 5 年物を購入(120 本)